

## 日本画部研修会

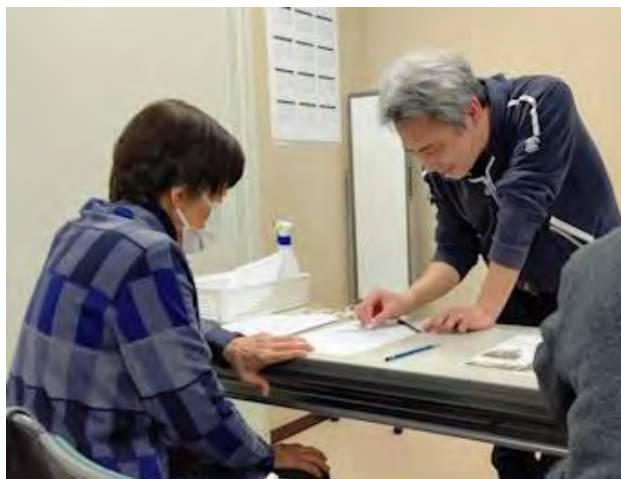
日 時 令和6年3月2日(土) 13:00~15:45  
場 所 県民ボランティアセンター 4階 第3会議室  
講 師 赤間 龍太 先生(洋画部部長)  
参加者 13名

(テーマ) 絵画における見方・考え方

(内 容)

“どのように物を表現するか”について講義があり、調子(tone)・光と陰影について、デッサンを通じて一人ひとりに実技指導がありました。用紙、鉛筆、消しゴムなど赤間先生が全て準備されていました。また、スペイン留学時代に学んだデッサンのことなどを話され、当時の貴重なデッサン帳を見せていただきました。参加者からは大変勉強になったとの声が聞かれました。

スペインは、ベラスケス、ピカソ、ダリ、ミロをはじめ、アントニオ・ロペス、ミケル・バルセロ、アントニオ・タピエスなど、超写実から抽象表現まで、美術史に名を残す錚々たる画家を多数輩出しています。スペインの伝統的なデッサンの技法に「マンチャ技法」というものがあります。「マンチャ」とは、スペイン語で「汚れ」のことですが、鉛筆や木炭で描いた画面を指や布などでこすって作品の表現を高める技法のことです。



一人ひとりに丁寧に説明をされる赤間先生